

京都市立芸術大学 サイレントアクア実行委員会企画

濱口竜介監督 来校！



酒井耕・濱口竜介 監督作品 東北三部作 第二部

『なみのこえ／新地町』 上映 + トーク

6月24日 (火) 17:30 ~ 19:30

京都市立芸術大学 L1 教室 (本棟 3 階)

濱口竜介 Ryusuke Hamaguchi

1978年神奈川県生まれ。東京大学在学中から自主映画の制作を始め、同大学文学部を卒業後、映画の助監督やテレビ番組のADとして働く。2006年に東京藝術大学大学院映像研究科監督領域に入学し、修了制作『PASSION』(2008年)は国内外の映画祭で高い評価を得た。その後も日韓共同製作『THE DEPTHS』(2010年)、4時間に渡る長編『親密さ』(2012年)、染谷将太主演『不気味なもの肌に触れる』(2013年)等を監督。2011年～2013年にかけては東北記録映画三部作『なみのおと』『なみのこえ』『うたうひと』を酒井と共同で監督した。現在は活動拠点を神戸に移し「即興演技ワークショップ」を運営している。2014年春にはワークショップ参加者出演による新作長編映画を撮影予定。



酒井耕監督



濱口竜介監督

『なみのこえ』は、東日本大震災における津波被災者へのインタビュー映画『なみのおと』の続編である。酒井耕・濱口竜介両監督は1年以上インタビュー活動を継続し、今回特に宮城県気仙沼市と福島県新地町の被災者、約20名のインタビューを新たに『なみのこえ』としてまとめた。人々が抱える問題も、思いも発生直後とは違って来ている現在、インタビューは薄れて行く記憶を夫婦、親子、親友、職場仲間との会話の中で呼び戻し、思いを新たにしている。『なみのこえ』は「被災者」のイメージを大きく飛び越える彼らひとりひとりの「こえ」の記録である。

上映後 濱口監督と小山田徹(本学教員)のトークを行います。